

# 活コン通信

With コロナは  
カイゼンの絶好の  
チャンスです！



## 謹賀新年～With コロナは時代の変化への幕開け【松田】

謹んで新年のお慶び申し上げます。

弊社では、昨年コロナの影響を受けながらも、新しく小集団カイゼン活動の立ち上げ支援、オンラインを活用して既存のお客様継続サポート、研修/セミナー/講座/交流会などたくさん開催できたことをたいへん感謝しております。

特に、コロナ禍においても新しく小集団活動をスタートされた会社様には、いずれもたいへん活性化して良い意味で特別な年になったと思います。たとえば、

- ・ 不要な書類や備品などで床が見えないような倉庫。応接室で休憩している  
→ 職種を越えて皆で協力し、不要物を整理し、見違えるような休憩室につくりかえた
- ・ 作業場所が固定されて、製品によって作業スペースが狭い  
→ 作業台にキャスターがつき、製品によって最適レイアウトができる。作業効率が100%良くなった

など数多くの5Sやレイアウト改善などが行われました。テーマをもったQC活動においては

- ・ 図面の3Dデータ化のより不良1/5、組付時間1/2、工程数削減により加工時間1/3などの大きな成果

また、コロナを機会に、顧客が自立学習できるアプリ開発や、新たにマスクの企画生産販売など実現させた会社様

見学に来られた顧客にカイゼン「見える化ボード」が評価されてコロナ禍でも受注を増やした会社様もありました。

With コロナは時代の変化の幕開け。「不安定」「不確実」「複雑」「曖昧」が日常になります。

これはカイゼンの絶好のチャンス。ぜひカイゼンの場を進化させましょう。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 本年もよろしくお願いいたします【假屋】

明けましておめでとうございます。昨年は、コロナコロナの一年で世の中が大変な状況でした。

ですが、こうして皆さまに支えていただきながら、一緒に一年を乗り越え、また新しい一年を迎えられたことは、大変有難く感謝しかありません。深く御礼申し上げます。

私個人としても、活コンとしても、世の中の状況に振り回されてばかりではなく、スピードを上げて進化していきたいと思います。皆さまのお役に立てるサービスをお届けし、「活コンに出会えてよかった」と心から、感じていただけるよう、今年も精進してまいります。

本年も皆さまのご健康とご隆昌を心よりお祈り申し上げます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 今年も活コンをよろしくお願いいたします【神谷】

昨年は大変お世話になりました。昨年は対面研修からオンラインでも研修できるように整備したりと変化のある1年でした。

秋に開催予定でした展示会もオンラインで開催できました。

皆さんと自由にリアルでお会いすることが憚られるご時世となりましたのでオンラインで交流できたらと思っております。

本年も活コンをよろしくお願いいたします。

## 新年おめでとうございます【小池】

旧年中は大変お世話になりありがとうございました。厳しい状況が続く中、無事令和三年を迎えられました事、深く感謝いたします。

新たな一年も気持ちを引き締めて、より一層皆さまのお役に立てるようさらに精励してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



### 活コンのオンラインセミナー

- 「人が育ち現場力を高める」5Sセミナー  
1月26日(火) 15:00～17:00
- ミニセミナー & 交流会  
「With コロナ/After コロナとISO」  
1月28日(木) 11:00～、16:00～



株式会社 活コンサルタント

代表取締役 松田英一

【HP】 <https://www.kconsulting.jp/>

【Blog】 <https://www.kconsulting.jp/katsu/>

名古屋市名東区上社 1-1305 2C

TEL:090-8554-8480 Mail:matsuda@kconsulting.jp

## ●いい人が黙る日本人

何をどう変えたいのでしょうか？みんな良くないと内心思っていること、変えたいと思っていることは沢山あります。けれども放っておくと「誰も何も言い出さない」まず、変えたいことは、多くの日本の会社共通の良くないところである「意見を言わない」特に「いい人が黙ってしまう」こと。言っても「否定される」「どうせ変わらない」「上の言うことは絶対」という諦めムード？確かに何も事を起こさないのが楽で良い。けれども、コロナで今までの価値観の変化が加速されます。After コロナにおいては古い価値観の組織だと2、3年くらいで淘汰されてしまうでしょう。

以下が After コロナにおける新しい価値観への変化例。ガラッと変わります。

- ・組織への帰属重視から個人の自立へ：「個人を尊重すると」と自主的な組織貢献も増えて組織の業績も良くなります。
- ・縦割組織から円の組織へ：上下関係の考え方はやめましょう。先に述べたように異なる意見が出にくくなります。
- ・同質性から、個性へ：同じ考え方の集団からはイノベーションは起こりません。違いを歓迎しましょう。
- ・監視管理から自主管理へ：リモートでは監視管理に限界があります。そもそも優秀な人は監視管理されたくないもの。
- ・情報統制から、オープンネスへ：あらゆる情報をオープンにすると現場の思考力がまわりはじめます。

など…まだまだ沢山あります。

今ぜひ小さな勇気を出して行動を起こしましょう。そして、それは何でも言える安心ポジティブな風土づくりから！  
そうです！「活コン型職場カイゼン活動の導入」が特効薬です！



## ●全員が活躍するカイゼンの場（松田）

活コン型職場カイゼン活動とは、職場の全員参加で、少人数チームをつくり、5S、書類、備品など目に見える小さなことから、業務、システム、設備に関する事、さらに製品/サービスや制度に関する事何でもOK。否定しないリーダーシップ、コミュニケーションの場からざくざくとカイゼンの意見がだされます。それらを皆で分担して取り組むことから、職場が変わっていきます。たとえば以下のような感想や学びがありました。

- ・キックオフミーティング盛り上がって時間がたらなくなった
  - ・目に見えて整理整頓が進んでいる。 ・誰かが言い出すまで待ってはいけいない。
  - ・全員と分け隔てなく話をすることが改善の第一歩。
  - ・チームで活動することのメリットを認識することができた
  - ・他メンバーの経験や考え方、感性、人柄に触れる貴重な機会となった
- 正社員だけでなく、派遣社員やパート社員の活躍も目立ちます。
- ・見える化ボードはその日のうちに派遣社員がつくってくれた。
  - ・パート社員の意見から、測定治具、位置合わせ治具、非接触治具、数合わせ治具など数多くの治具が生まれた。

ベテランから若手への技術伝承の場にもなります。

- ・今回ベテランと若手の違いを細かく調べ、違いがわかり成果と若手の成長につながった
- そして女性活躍につながっています。ある会社様では「女性リーダーでないと賞がとれないのか？」とまで言われるくらい女性が活躍しています。
- あらゆる世代や雇用形態を越えて活躍しだすのがカイゼン活動の場です。

## ●仕事と育児の両立～妊娠中の働き方の見直し～（假屋）

20年前までは、出産のタイミングで退職する女性が約半数と言われていました。女性の就労状況におけるM字カーブです。今は8割弱の女性が働きながら妊娠・出産・育児をする時代になってきました。さらには、1人目を生む年齢も35～39歳と高齢化しています。

そこで、会社としてもサポートが求められるのですが、子育てに関する価値観が時代に追いついていないことも考えられます。例えば、40代以上の方は無理をしても子育てを頑張ってきた世代と言われており、「ちょっとぐらいのつわりで」「私だって一人で育てたんだから」等といった声もまだまだ多いようです。

さらには、妊娠中の女性は職場に対して、自らの体調の良しあし、軽症重症といったことを伝えづらく、言葉にもしづらいため、フォローを得られにくい現状もあります。

そこで、「母性健康管理指導事項連絡カード」を活用します。

母性健康管理指導事項連絡カードとは、担当医師から事業主へ「女性労働者の状態や指示内容、とるべき措置等」を連絡するためのカードです。

こちらには、つわりや貧血、等妊娠期間中に起こる症状とその状態（軽症・重症）、そして措置の内容が記載されています。出産後も使用できます。

「母性健康管理指導事項連絡カード」は医師からの診断書と同等の扱いとなり、事業主は、記載内容に応じ、男女雇用機会均等法第13条に基づく適切な措置を講じる義務があります。

つまり、企業側への自らの状態を伝える際に、医師からのお墨付きのツールになりますので、とても心強いものかとおもいます。こちらの内容に基づいて、本人と会社側で話し合いながら、働き方を見直すような体制が、女性が安心して活躍できるような風土につながるのではないのでしょうか。

